

## Carpe diem（カルペ・ディエム）

ホラティウス『歌集』の言葉。「自分たちにどのような最期が待っているかを知ることにはできない。何が起ころうとも、それを受け入れる方がよい。長い希望を短い時間によって切り分けなさい。くよくよ考えているうちにも時間は逃げて行く。次の日をできるだけ当てにせず、一日を摘み取れ（その日を楽しめ）。」と説く。

—— 研究社『ラテン語名句小辞典』より

もうすぐ元号が変わります。この先、私たちにはどのような未来が待っているのでしょうか。科学技術の進化によって、ライフスタイルや働き方はどんどん変化していくことが予想されます。

本展示では、この時代の節目を「スタート（リスタート）を切る機会」と捉え、“その日を楽しめ（今を楽しめ）”を意味するラテン語「Carpe diem」をテーマに、現在のトップランナーたちや最新のテクノロジーについて知り、これからの暮らしや仕事について考える図書を蔵書の中から選び、担当スタッフがスタート（リスタート）からイメージする図書とともに並べました。今回のテーマを念頭に集めた様々な言葉と合わせてご覧ください。

明日ありと思う心の仇桜夜半に嵐の吹ぬものかは

—— 親鸞（『親鸞聖人絵詞伝』～ジャパンナレッジ Lib より）

運も愛も大胆に振る舞う者の味方をする

—— オウィディウス（『恋愛指南』岩波書店）

今日存するとも明日もと思ふことなかれ

—— 懐英（『正法眼蔵随聞記』岩波書店）

苦勞した思い出も過ぎてみると心地よい

—— エウリピデス

（『ラールス世界ことわざ名言辞典』より「ヘレネー」角川書店）

君子豹変。小人革面。 —— 『易経』

このみちや いくたりゆきし われはけふゆく

—— 種田山頭火（『あの山越えて（行乞記；1）』春陽堂）

犀の角のようにただ独り歩め

——ブッダ（『ブッダのことは：スッタニパータ』岩波書店）

先んずれば人を制す ——司馬遷（『史記（4）』徳間書店）

子曰。温故而知新。可以爲師矣 ——孔子（『論語』岩波書店）

時間の価値を知らない者は、生まれながらに栄光には向いていない

——ヴォーヴナルグ（『不遇なる一天才の手記』岩波書店）

下を向いていたら、虹を見つけられないよ。

——チャールズ・チャップリン（映画『サーカス』）

少年老い易く学成り難し ——朱熹〔朱子〕

（『ラールス世界ことわざ名言辞典』より「偶成」角川書店）

すべてさびしさとかなしさとを焚いてひとは透明な軌道をすすむ

——宮沢賢治（『現代日本文学大系 27』より「春と修羅」筑摩書房）

青年時代は知恵をみがく時であり、老年はそれを実践する時である。

——ジャン・ジャック・ルソー（『孤独な散歩者の夢想』岩波書店）

「そのうち」なんて当てにならないな。いまがその時さ

——スナフキン（『黄金のしっぽ』筑摩書房 ※県内公共図書館蔵）

誰にもかれにも同じ時間がながれていると思うのは間違いだ。

——川端康成（『日本名言名句の辞典』小学館）

年たけてまた越ゆべしと思ひきや命なりけりさやの中山

——西行（『新編 日本古典文学全集 43』より「新古今和歌集」小学館）

ハナニアラシノタトヘモアルゾ 「サヨナラ」ダケガ人生ダ

——井伏鱒二（『厄除け詩集』筑摩書房）

満足した愚か者よりも、不満足なソクラテスになる方がよい

——ジョン・スチュアート・ミル（『功利主義論集』京都大学学術出版会）

未来は既に始まった

——ロベルト・ユンク（『未来は既に始まった』文藝春秋新社）

よき時代は天から降ってくるものではなく、

わたしたちが自分でつくり出すもの。

——ドストエフスキー（『罪と罰』岩波書店）

世の中の人は何とも言はば言へ わがなすことは我のみぞ知る

——坂本龍馬（『辞世の言葉で知る日本史人物事典』東京堂出版）

わきめもふらで急ぎ行く 君の行衛(ゆくえ)はいづこそや

——島崎藤村（『藤村詩抄』岩波書店）